

放射線災害復興を推進するフェニックスリーダー育成プログラム
第4回国際シンポジウム “Leadership and Trust in Radiation Disaster”
を開催しました。

平成27年2月14日、15日に、国内外の研究者、学生、産業界等の多くの参加者を迎え広島国際会議場にて国際シンポジウムを開催しました。1日目はプログラム所属大学院生による研究成果発表とポスター発表を行い、2日目は講師として、海外から Dr. May Abdel-Wahab (国際原子力機関 (IAEA) 保健部部長), Dr. Jacques Lochard (国際放射線防護委員会 (ICRP) 副委員長), Dr. Albert Lee Wiley (オークリッジ科学研究所放射線緊急時支援センター／訓練施設 (REAC/TS) センター長), Dr. Rethy K. Chhem ((カンボジア開発資源研究所 (CDRI) 所長) (元 IAEA 保健部部長)) ら専門機関のリーダー及び国内から2人の研究者を招聘してテーマについて講演いただくとともに、参加者と活発なディスカッションを行いました。

